

## 『この時代に生かされて』 出エジプト記6章1～8節 2018.2.11(主日礼拝説教より)

『(モーセは)報いとして与えられるものから目を離さなかった…目に見えない方を見るようにして、忍び通した…。』

ヘブル書 11章 25～27節

**①この時代に生まれた私たちの役割(使徒 7:18～20)…『…王は、幼子を捨てさせ、生かしておけないようにしました。このようなときに、モーセが生まれた』。**モーセは生まれた時、民は救いを求めて叫んでいた！働き人も、救われる人も激減し、「愛が冷える」と言われたこの「終わりの時代」に生まれた私たちに神は、いかに福音を伝え、どうすれば互いに愛し合えるのかを問われている！

**②この世の歴史観・神が導く実際の歴史…**どんな歴史観を持つかで人生は大きく変わる。①楽観的歴史観…人間は賢く、結局は地上を楽園に…と言うが、2度の世界大戦！その都度、規模も残虐度も増加し、楽観視などできない！②渦巻き型歴史観…ひとつの文化が生まれて繁栄し、熟して内部崩壊し、また新しい文化…と終わりが無い！③山型歴史観…カリスマ指導者が登場し、世界規模で歴史に影響を与え、亡くなり、体制が壊れ、次のカリスマ登場…で終わらない！④唯物史観…ある主張(正)と「反」対の主張がぶつかって「合」が現れて歴史が動き、延々と繰り返す。⑤聖書の歴史観は、初めがあり、終りがある！終始一貫して神が支配して導く。罪と悪の支配に終わりを告げ、永遠の安息が実現し、歴史を完成される。『この御国の福音は全世界に宣べ伝えられ…それから、終わりの日が来ます(マタイ 24:14)』。★激変する社会・人の心・価値観に振り回されず、不変(普遍)の価値観(真理)に生き、その時のベストを尽くすことが期待される。

**③この時代に必要とされる信仰者…**神は民を救うためにモーセを選び、彼は決意して指示通りにするも、状況は益々悪化！モーセが神に叫ぶと答えがあった！『わたしが…しようとしていることは、今にわかる！…わたしは主！全能の神である(出エジプト 6:1～8)』。主権者、不変(普遍)の神が時代を導かれる！モーセは激動の時代を、『見えない方を見るようにして忍び通した(ヘブル 11:27)』。モーセは、どんなに辛くても、導くお方と、目的(約束の地へ民を導く)を忘れなかった！

★神がこの時代に生きる者に求めるのは、全てが変動しても、不変(普遍)の御心を信じ、神の力を受け、愛と平和の実現のために生きる人！世と人に振り回されず、福音を伝えて御国を目指そう！